

# 「第5回全国源流サミットin奈良県川上村」 ～真の流域連携とは何か!?ともに語り、つなげよう～ が開催されました。

H26. 9. 8

～紀の川ダム統合管理事務所～

「全国源流サミット」は、平成17年11月に全国各地の河川の最上流部に位置する自治体により「全国源流の郷協議会」が発足し、現在加盟している19市町村の自治体が集い、源流の魅力と役割を再認識するとともに全国に向けて発信し、流域交流を通して水環境の保全についても探っていくものです。

今回で第5回目となる「全国源流サミット」は、紀の川吉野川源流に位置する奈良県川上村で3日間にわたり開催され、約600人が参加されました。



開催日：平成26年9月5日（金）～  
平成26年9月7日（日）  
場 所：奈良県吉野郡川上村  
主 催：第5回全国源流サミット実行委員会  
共 催：奈良県川上村、全国源流の郷協議会、  
NPO法人全国源流ネットワーク  
後 援：国土交通省、総務省、環境省、林野庁、  
独立行政法人水資源機構、奈良県

## ■（第2日目【9月6日(土)】） 全国源流の郷協議会サミット（首長会議）

現在、全国源流の郷協議会に加盟している19市町村の首長による「我が源流の郷PR」が行われました。

その中で栗山奈良県川上村長は、『昨年3月に半世紀をかけた大滝ダムが完成し、ダム湖も「おおたき龍神湖」と名付けられました。苦難の時期もありましたが、村はダムを受け入れ、ダムと共存する決意を固めたところです。

また、平成8年度に村づくりの理念・方針を5項目からなる豊かできれいな水を下流に流し続ける「川上宣言」として発信すると共に、吉野川源流部（三之公地区）の原生林約740ヘクタールを「水源地の森」として村が購入・保全し、「樹と水と人の共生」をキャッチフレーズに「水源地の村づくり」に取り組んでいます。』とコメントされました。

## ■（第1日目【9月5日(金)】） 開催地視察

全国源流の郷協議会加盟市町村関係者を対象に今回の開催地である川上村を知ってもらうために「紀の川・吉野川源流地」や当事務所が管理する「大滝ダム」等を視察されました。

大滝ダムの視察においては、事務所職員が説明を行いました。

まず始めに、パネルを使い、大滝ダムの概要や役割等を説明した後、ダムの中みちを通り、堤体内にあるコンジットゲート室でゲートを見ながら構造等を説明しました。

その後、ダイナミック広場からダムの大きさを体感していただきました。



栗山川上村長による川上村のPR風景



パネルによる説明風景



ダムの中みちからの視察風景



コンジットゲート室の視察風景



ダイナミック広場からの視察風景



会場（川上総合センターやまぶきホール）

■ (第2日目【9月6日(土)】)  
**全国源流の郷・流域ミーティング**

● **開会**

「実行委員会会長」の栗山奈良県川上村長及び「全国源流の郷協議会会長」の松木山梨県小菅村長の開会挨拶に始まり、清水近畿地方整備局副局長、松谷奈良県副知事から来賓祝辞をいただきました。



パネルトークの風景



栗山川上村長 開会挨拶



松木小菅村長 開会挨拶



清水近畿地方整備局副局長 来賓祝辞



松谷奈良県副知事 来賓祝辞

● **源流×流域パネルトーク**  
 ~そこが知りたい！これが知りたい！うちの流域連携・自慢と課題~

源流域と中下流域の交流・連携の現況や課題について、多摩川、木曾川、そして開催地域の紀の川・吉野川の3河川から下記の内容を報告され、会場におられる他の河川流域の方々にも発言していただき、取り組みや問題等の共有を行い、また、コーディネーターやコメンテーターからのアドバイスや情報提供をいただきました。

- 多摩川：夏休みに下流の都市部の子供が源流に来て交流を深めている。
- 木曾川：源流の村が下流の名古屋市に出張所を開き、名古屋からも大学生が村の祭りに参加している。
- 紀の川：川と海の関係は意識しなかったが、今
- 吉野川 は山にも関心を持ち、山に木を植え「漁民の森」づくりを行っている。



パネルトークの風景



コーディネーター  
 早稲田大学  
 宮口教授

コーディネーターの宮口教授からは、『自然を守り、自然とともに暮らす大切さを世の中に広く伝えたい』と話されました。



コメンテーター  
 国土交通省  
 渥美河川環境課長



コメンテーター  
 独立行政法人  
 水資源機構  
 須見経営企画部長



コメンテーター  
 サントリーホールディング株式会社  
 山田チーフ  
 スペシャリスト



コメンテーター  
 NPO法人  
 全国源流ネットワーク  
 中村代表

コメンテーターからは、『都市で水道の蛇口をひねると水はどこから来るのか考える関係が必要』等の意見が出ました。

■ (第3日目【9月7日(日)】)  
**川上村エクスカッション**

一般参加を対象に様々な問題について、一緒に考える下記の3つのツアーが開催されました。各20名の60名が参加されました。

- Aコース：吉野川源流～水源地の森ツアー
- Bコース：北股の森におけるゴイシツバメシジミ保護・増殖事業見学ツアー
- Cコース：吉野林業版、古(いにしえ)からの水と人の繋がり探訪ツアー

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
 紀の川ダム統合管理事務所 管理課  
 〒637-0002 奈良県五條市三在町1681  
 TEL 0747-25-3013

